



学校教育目標

自ら学び鍛え、励まし合う、心豊かな児童の育成



## 一生の思い出に！ フロバスケットボールクラブ「長崎ヴェルカ」試合観戦



2月19日（日）県立総合体育館にて、B2リーグ「長崎ヴェルカ」対「熊本ヴォルターズ」の公式戦を観戦しました。試合前、ご招待いただいた廃車王長崎店さんにご挨拶し、応援メッセージカーに選手へのメッセージを書き込んだ後、みんなで会場に入りました。子どもたちは手作りの横断幕をもって、ゴール前の1階席からの応援です。

試合は、どちらも一歩も譲らない一進一退の攻防で、第3クォーター終了時点で54対54の同点。しかし、ここからがヴェルカの強さです。第4クォーター、粘る相手を突き放し、76対68で見事に勝利しました。

白熱した試合展開に見入る子どもたち。ヴェルカの得点が入るたびに、大きな拍手で盛り上げます。特に、3ポイントシュートやダンクシュートが決まった時は、大喜びでした。



この日は子どもたちの家族、職員もいっしょに観戦することができました。オール南小で観戦できるなんて、またとない機会です。みんなで素敵な思い出をつくれました。こうした機会を作ってくださった関係の方々には心から感謝です。

Bリーグは、試合以外でも十分に楽しめるエンターテインメントあふれるものでした。その中でも先日来校いただいたMARIAさん、YUKARIさんたちの「長崎ヴェルカチアリーダー」は大活躍でした。タイムアウト時やハーフタイムではコートに飛び出て、圧巻のパフォーマンスを披露していました。子どもたちも身近に感じたことでしょう。

もちろん、試合も見ごたえがありました。野球やサッカーと違い、選手との距離が近く、体と体のぶつかり合い等、プロのスピードとパワーを堪能できました。子どもたちはこのあと成長するにつれ、本物に出会えた幸せを実感することでしょう。

今回の試合観戦に先立ち、南小で行われたイベントについてもご紹介します。

2月14日（火）

長崎ヴェルカ公式マスコットL U C Aとふれあいタイム  
長崎ヴェルカ選手とリモートでトークセッション  
廃車王さまより観戦チケット贈呈式

まずは、長崎ヴェルカ公式マスコットL U C Aとのふれあいタイムです。L U C Aは男の子でも女の子でもなく、龍とおしどりのハーフだそうです。いっしょに記念撮影など行いました。



その後、長崎ヴェルカの松本健児リオン選手とディクソンジュニアタリキ選手にリモートで登場していただき、子どもたちとトークセッションを行いました。

「バスケットは何人でやるんですか？」→「コートの中は5人、途中で交代もあります」  
「試合で心がけていることは？」→「何よりも勝つぞという気持ちを大切にしています。」  
など、選手と子どもたちの心温まるやり取りが続きました。松本選手からは「3ポイントシュートを決めたらこのポーズをします。」という言葉もあり、子どもたちは目を輝かせていました。（残念ながら、当日の試合には松本選手、ディクソン選手ともに、けがの影響で出場できませんでした。しかしながら、試合観戦後にサプライズで対面する機会を設けていただきました。本当にありがとうございました。）



最後に、廃車王長崎店 株式会社アールトーヨー社長様より、子どもたちへ試合観戦チケットの贈呈が行われました。おかげさまで、南小みんなで貴重な経験を共有し、すてきな思い出をつくることができました。ご厚意に、心から感謝します。本当にありがとうございました。

この日はテレビ局が3社も入り、子どもたちはかなり緊張した面持ちでした。しかしながら、カメラの前でも物おじせず、しっかりとインタビューに答えたり、普段通りにふるまったりする姿は、とても頼もしく感じました。こうした経験を通して、一人一人が自信をつけ、成長していく。子どもたちの可能性を改めて感じた次第です。